

2022年度第2回統計数理研究所共同研究集会

MESHSTATSのススメ

株式会社ジェネックスパートナーズ 眞木和俊（世界メッシュ研究会顧問）

2023年2月20日



MESHSTATSの利活用に向けたユースケースの検討

今回はMESHSTATSの実用的な利活用を検討するために、国土交通省が主導する3D都市モデル「PLATEAU(プラトー)※」を用いたユースケースを考えてみました

※<出典>国土交通省ホームページ <https://www.mlit.go.jp/plateau/>

<課題解決ユースケースのアプローチ>

1. 対象とする用途、目的を決める
2. 現状をデータで把握する
3. 将来予測、対策立案、投資判断などを検討する
4. 具体的な実施計画、施策を決める

実用的な課題解決アプローチを提唱したい

PLATEAU(プラトー)とは

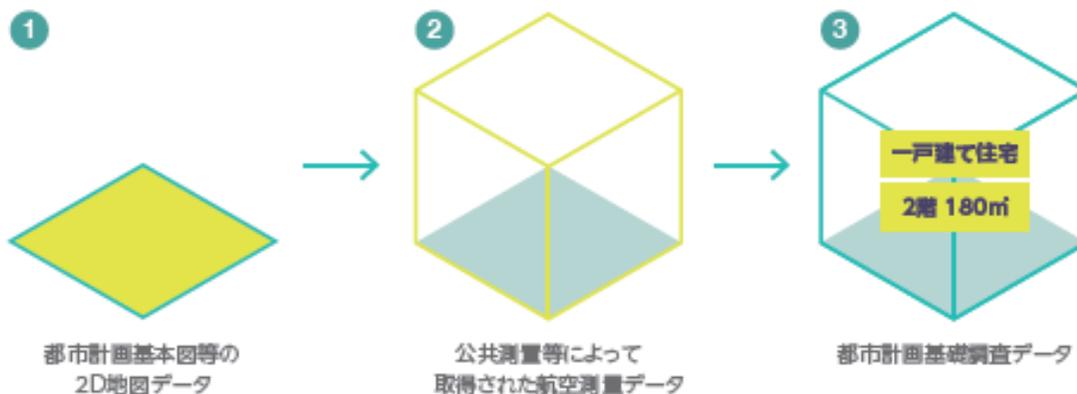
国土交通省が2020年度から始めた都市構造物の3次元モデル化プロジェクトで、現在国内56都市の構造建築物を表示できます

OGC(Open Geospatial Consortium)が定めた「CityGML」というフォーマットに基づき、LOD(Level of Detail)を使ってモデルの詳細度を定義します

PLATEAUの強み

庁内の既存データを活用できる

3D都市モデルは、主に地方公共団体が保有する3つのデータから作られています。今あるデータを活用して効率的に3D都市モデルを整備することができます。



<LODの定義対象>

- LOD1: 建物+高さ情報
- LOD2: +屋根形状
- LOD3: +外構(開口部)
- LOD4: +室内(BIM/CIM)

<出典>「PLATEAU 1st Step ユースケース開発ガイド」から引用

まとめ／NextSteps

中長期的な世界メッシュ統計のビジネス利活用計画の検討を進める上では、引き続きSDG'sに関する課題解決の分析支援ツールとしての活用方法(ユースケース等)を提案することで優位性につながるのではないかと着目しております

<検討事項について>

- 何を検証するためのユースケースか(やりたいことは何か)
→ **SDG's関連テーマ(再生エネルギー、災害防止、街づくり、等)でユースケースを集めてみてはどうか**

- ビジネス価値のKPI決めと運用試算シミュレーションの実施(魅力価値は何か)
→ **ユースケースを通じて創造価値の予測や運用試算を推計してみる**
→ **ちなみにプラトーを用いた3D都市モデルの整備事業は比較的安価に行うことができる※とのこと**

- YCU佐藤教授への開発作業負担集中の回避、軽減策の早急対応が不可欠
→ **相変わらず未着手**

※<出典>日経ビジネス 2022年12月5日号

皆様の積極的なご意見、ご討議をよろしくお願いいたします



本資料は弊社スタッフによるプレゼンテーション等を伴う説明を行うことを意図して作成されております。
本資料の一部または全部を、①弊社の書面による許可なくして社外に再配布すること、
②社内への説明目的以外の目的で複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製することを禁じます。

© 2023 株式会社ジェネックスパートナーズ

